

ディテイラーから钣金・整備事業者まで広くオートアフターのプロに親しまれ、愛用されている「RYOBI(リョービ)」の電動工具。実は、2018年に電動工具事業が承継され、以降は京セラインダストリアルツールズ(鈴木健二郎代表、広島県福山市)が同ブランドの開発・製造・販売をしている。その同社が今年1月以降、「プロの現場でより安心してご使用いただける高品質モデル」をコンセプトに、「KYOCERA」ブランドの展開を強化。製品ラインアップを拡充するとともに、今秋には全国的にテレビCMも放映し、製品・認知の面で存在感を強めている。

KYOCERA

作業効率を一段上げる“コードレス”という選択 ポリッシャー&クリーナー

バッテリー技術の向上とともに、電動工具の世界でもコードレスタイプが活況を帯びている。KYOCERAでも、今年9月に新たに充電式ポリッシャーを新発売。今回、京セラインダストリアルツールズが本社を構える広島県内で、エンドユーザー・ディーラー双方から高い信頼を得る施工店「しゃかりき(丹下竜太代表、広島市安佐南区)」に協力を仰ぎ、製品を使用してもらった。



新製品は、「DPE11XR(シングル) / DPEG11XR(ギヤ)」の2種類でパッド径はいずれも75mm。ディテilingの世界では昨今、ダブルによる磨きが主流となっているが、しゃかりきではシングルも存分に活用しており、ディーラーからの請負業務を中心に、スピードが求められる作業ではシングルによる研削は不可欠という。その中で丹下代表は、特にシングルのDPE11XRについて「コードレス式



ながらしっかり傷もとれる」とその高い研磨力を評価。また、近年はバンパー・ヘッドライト周りをはじめ、ボンネットやフェンダーなどある程度広範囲なパーツでも複雑なラインを描いているモデルも多く、「年々、小径ポリッシャーの活用性が増えている。従来主流だったポリッシャーに比べると小径でサブ的な位置付けだと思うが、最近だとむしろ



充電式ながら、18Vバッテリーと負荷が掛かっても回転数を維持する独自のフィードバック制御機構で安定した研磨力を発揮

ながらしっかり傷もとれる」とその高い研磨力を評価。また、近年はバンパー・ヘッドライト周りをはじめ、ボンネットやフェンダーなどある程度広範囲なパーツでも複雑なラインを描いているモデルも多く、「年々、小径ポリッシャーの活用性が増えている。従来主流だったポリッシャーに比べると小径でサブ的な位置付けだと思うが、最近だとむしろ

ろこのサイズが使いやすい場面は少なくない」と、パワー・サイズの両面で使い勝手を評価する。

もちろん、長年多くの人に使われてきたパッド径125mmのポリッシャーも「KYOCERA」ブランドでラインアップ済。充電式ではないもののコードを脱着できる「RPE202 / RPE202R(シングル) / RPEG132(ギヤ) / RPED132(ダブル)」の4製品は、作業利便性を底上げする新たな定番モデルとして、高く支持されている。



また、コードレス化の潮流は施工機材に留まらない。ディーラーとの協力関係も築きながら、自社顧客=ファン層も着実に作り上げ、収益基盤を安定化させているしゃかりきでは、自社ファンを迎え入れるスペースも丁寧に作り上げている。エンドユーザーを迎え入れるスペースは日々の清掃業務も欠かせないが、18V電池で90Wの吸引仕事率を誇るコードレスクリーナー「DHC180L5」は、そうした作業を優れた可動性・吸引力でサポートしてくれる。店舗清掃を担当するスタッフは、「これまでは作業場の集塵機を移動させていたが、フロアを跨ぐため労力が大きい。事務・接客スペース用の清掃には十分な吸引力で、店舗に1台置いておきたい」と評していた。



必要十分な吸引力と使い勝手を両立した充電式クリーナー

繊細なフィルム施工を助ける安定した機能

コーティングと同様、カーディテilingの柱の1つであるカーフィルムや、近年注目急上昇中のウインドウプロテクションフィルム(WPF)。PET樹脂をベースとするガラス用フィルムの施工には熱成型が不可欠だが、この作業でもKYOCERAのホットエアガンは高い支持を得ている。

従来からの定番品として性能面で安定した信頼を得る「AHAG1551」もKYOCERAブランドがラインアップ

されており、カーフィルムから最新のWPFまで手掛けるしゃかりき丹下代表も、「昔から安心して使える道具」と太鼓判。特に材料単価が高く、施工の失敗リスクも大きいWPFなどでは安定感ある機材を選びたい。



〈取材協力店〉
しゃかりき
広島県広島市安佐南区八木4丁目14-7

今回、製品テストに協力してくれたのは広島市安佐南区に店舗を構えるしゃかりき。コーティング、カーフィルムからPPFやラッピング、WPFまで一手に手掛けており、ディーラー・エンドユーザー双方の高い施工実績を誇る。丹下竜一代表は、各サービスのブラッシュアップに余念がなく、コート剤から各種フィルムまでサプライヤーの元を直接訪れて吟味し、施工機材もブランド偏らず幅広く自身の手でテスト。現在は施工店を中心に钣金事業者やSSらも参画する「ワールドディテilingジャパン」という組織を設立し、業界を横断した技術研鑽にも取り組む。2021年2月17日には同店で、日本コーティング協会と共同で磨きに関する検証会を開催予定。見学参加も受け付けている。
検証会問い合わせ先: <https://www.wdj.jp/>

THE NEW VALUE FRONTIER



小径パッドの コードレスポリッシャー

Single Action / Gear Action

- 安定した磨きを実現した電子制御搭載
- ブラシレスモーター
- 低/中/高速の変速付き

充電式シングルアクションポリッシャー
DPE11XR

充電式ギヤアクションポリッシャー
DPEG11XR (オービット径4mm)



※写真はDPEG11XRです

京セラインダストリアルツールズ株式会社

お問い合わせはナビダイヤルへ 0570-666-787